

【修道院秘術】

# リヴァーク



今から約400年前の

「西暦1603年」

10月13日の  
午前2時23分頃。

国外追放者が続出した、  
あの“オーヴェン修道院”にて…

聖職者の中でも位のある  
“司教”の「選ばれし者」のみに  
継承される門外不出の秘伝書

「ザイフリート」

が裏書庫から突如、盗まれる  
という事件が起こりました。

…

「何としてでも取り戻せ!!」

「“24時間”以内だ!!」

「いいか!!秘伝書が盗まれた事は  
一切、口外してはならない!!」

普段は笑顔しか見せることのない

「教皇ザレフ」

の、世にも恐ろしい形相から出た、

この世のものとは  
到底思えない…

まるで呪いの魔法の  
文言とも取れるような、

激しい叱責を聞いた  
修道士“ブルクハルト”は、

その場で絶句し、  
金縛りにあったかのように  
凍りつきました。

「自分がまだ知らない“秘伝書”が  
この教会にあった事にも驚きだが、  
まさかその“秘伝書”が  
何者かに盗まれるとは…」

どうして教会に住む者たちが  
町の人々よりも病氣知らずで若々しく、

何歳になってもずっと元気で  
健康に生きているのか…

なぜ、国家の異端者として  
次々に教会の人間が追放され、  
敵視されているのか…

夜な夜な上層部だけの会議が  
最近、頻繁に行われている  
理由は一体、何なのか…

そのことに強い疑問を  
持っていたブルクハルトは、

その原因が、もしかすると  
この秘伝書…

“ザイフリート”にあるのでは？と  
疑問に思いながら、

教皇の命令通り、  
すぐさま秘伝書を  
あちこち探し回りましたが、

結局、24時間休むことなく、  
寝ることなく、食べることなく…

教会中、町中を探すも、  
秘伝書のきっかけさえ  
発見することができず…

ブルクハルトとその信徒は、  
“秘伝書未発見”の罪により、  
永久追放されたのです。

…

2000年前より、  
ドイツの小さな修道院にのみ  
密かに受け継がれ、

古代メソポタミア文明より  
伝わる「究極の細胞蘇生術」

### 「アムリータ」

この“アムリータ”とは、

「占星術のハーブ」  
「月の満ち欠け」

を利用して昔から  
修道院にて行われてきた

### 「ファスティング」

ですが…

実は修道院に  
伝えられてきた秘密は

「アムリータ」

だけではありませんでした。

古代メソポタミア文明より  
伝わっていた

「究極の細胞蘇生術、  
“アムリータ”」

を覚醒させる“裏”の秘術

「リヴァーク」

も、同時継承されていたのです。

しかし…

「リヴァーク」

についての継承は当時、  
石版に「絵」で書かれた  
“表示のみ”であり、

口伝で語り継がれてきた  
“アムリータ”と違い、  
“リヴァーク”の方法や  
効果については

ハッキリと明確に  
されていなかった為、

「何だか大切そうな石版なので、  
よくわからないけれども  
保管しておこう」

と、修道院長の部屋にある  
“隠し部屋”に保管され、

その秘密は誰にも知られず  
眠り続けていたのです。

しかし、時が流れ…

「古典の暗号解読」

の知識に長けたある修道院長が、  
何気にその石版を見たところ…

「ややっ!？」

「これはもしかして…？」

「やはり、そうだっ!!」

と、古文書の専門家をはじめ、  
最強の知識人を集めて  
石版の秘密を解読したところ、  
なんとそこには

「地・火・水・風・空」

の5つの“エレメント”を象徴し、  
“アムリータ”の効果を  
大きく劇的に飛躍させる

「リヴァーク」

の秘密が隠されていることが  
判明したのです。

「“アムリータ”のパワーを体内で  
“12時間以内”に爆発的に増幅させ、  
“168時間”その効果を継続させる  
伝説の秘術“リヴァーク”」

…

細胞の蘇生レベルが  
極めて高いことから、

これは広まると間違いなく

「皇帝、国家」

に目を付けられると  
思った修道院は、

“リヴァーク”の存在を、  
“アムリータ”以上に危険視し、

使用、活用を全面的に禁止…

この世にあること自体が  
問題であるとの意見も  
時と共に協定会議にて  
度々、出だしたことから、

「リヴァーク」

は、ほぼ完成と共に  
完全封印されることとなり、

「オーヴェン修道院」

では代々、修道院長のみに  
その秘密が継承されたのです。

その“リヴァーク”のことが  
詳しく記載されていたのが、  
あの盗まれた…

修道士ブルクハルトが  
発見できなかつただけで  
追放されるほどの罪に問われ、

オーヴェン修道院が  
取り壊される原因ともなった

### 「秘伝書、ザイフリート」

だったのです。

その“ザイフリート”の一部が  
先日、ドイツのある修道院で  
見つかったとの報告があり、  
それを手にした

「我々、人間は“永遠の命”  
に最も近い動物である」

と主張する…

1000年もの間、代々ずっと  
不老不死を追い求めてきた  
シークレット・ソサエティ、

### 「ELIXIR一族」

から、ようやくその  
写本を手に入れた殿は…

「アムリータの持つ効果」

をより完璧に、より確実に、  
より緻密に行うために…

この

### 「リヴァーク」

を限定で公開することに  
踏み切ったのです。



「永遠の命を手に入れ、  
若さを保つ」

とまで言われたその効果が  
絶大であることから、

限られた司教しか知り得ない…  
知らされていない…

禁断の秘術“リヴァーク”とは、  
一体どんなものだったのか…？

スウェーデンの友人から  
厳重な包装にて送られてきた、  
30数ページの、

「どんなコピー機を使っても、  
黒い画面になってコピーできない」

特殊な紙を用いた  
写本のコピーに記された、

「5つの石版」

の秘密とは、何なのか…

殿は早速、数名の弟子に  
実践させてみたのですが…

ある人は、

「水」

のエレメントを持つ  
ハーブを使っただけで、

顔だけでなく、  
普段ほとんどの人が  
チェックしないであろう、

首、腕、足、お腹などが

「全身メイクアップ」

したかのように、思わず誰もが  
頬をすり寄せたくなるほどに  
肌が水々しくなり艶が出て、  
それが7日間は持続したとか…

「風」

のエLEMENTを持つ  
ハーブを使った日から、

夜も眠れないほどの  
かゆみや発作に悩まされていた  
アレルギー症状が

「ピタっ」

と止んでしまったとか、

いつも夕方になると  
顔はまんまるになり、  
足首には靴下の型が  
くっきりとつき、

「翌朝まで消えない」

という酷いむくみ体質だった  
ある女性は、身体のむくみが  
綺麗に引いてしまい、

「一回り顔と足首が  
小さくなった」

とか、

「年中、手足の指先が  
氷のように冷たい末端冷え性」

だった女性が、寒い日でも

「指の先まで、熱い血が  
流れているのがわかる!!」

と叫び出し、全身ポカポカで  
体温を測ってみると、  
一日平均“0.5度～1度”  
上昇したままだったとか、

カチカチにコリ硬まった肩が、  
マシュマロのように  
ふわふわになって、

「肩こり知らず」

になってしまった、など…

様々な強力なデトックス現象、  
美肌作り、体質改善などを  
それぞれ体感するという  
結果になったのです。

もちろん、この秘術だけ行っても、  
十分すぎるほどの嬉しい結果を  
もたらしてくれるのですが…

「**アムリータ**」

と合わせて行うことで、

ヘドロがへばりついた  
ドラム缶のような

「血管の老廃物のつまり」

もキレイに剥ぎ取られ、  
毛細血管の隅々まで  
酸素と栄養素が運ばれて、

ダムのようにせき止められていた  
リンパも一気に流れ出すので、

毒素もスムーズに  
体外に出せるようになり、

効果の即効性、持続性が  
2倍以上高くなるのです。

また、身体だけでなく…

眼に見えない電磁波や  
環境汚染、化学物質、

また、人間関係や粗悪な  
食べ物などにより、  
常に現代人がストレスを  
感じている脳も、

「リヴァーク」

を実行することで  
一気にストレスから解放され、  
究極のリラックス状態に陥り、

家族のしているTVの音が  
少々大きかろうが、

部屋が散らかっていて  
いつもならイライラして

すぐ怒鳴ってしまいそうな  
場面に遭遇しようが、

自分でも驚くほど、心が

「波紋1つない、湖面の如く」

何にも動じない  
フラットな状態になるのです。

そんな占星術のファスティング、

「修道院秘術 アムリータ」

の効果を飛躍的にアップさせる  
秘術“リヴァーク”を…

“アムリータ”同様、  
日本でこの秘術を知るものが  
ほとんどいない、この秘密を…

特別な音声にて、

「限定公開」

しようと思っております。

太陽と月、  
男と女、  
光と影…

世の中には常に、  
表と裏が存在します。

今もなお、ドイツの小さな  
修道院のみで受け継がれる

「アムリータ」

に対し、この世の表から  
完全に姿を消し続けていた

「リヴァーク」

の秘密を…

是非、あなたの目で確かめ、  
あなたの体で体感して下さい。

修道院秘術 リヴァーク

※現在、一般公開は停止しております。  
次回の募集をお待ちください。